

東日本大震災から9年、
「死の物語」を疾走する

サクリフェイス

青木柚 半田美樹 五味未知子

藤田晃輔 櫻井保幸 矢崎初音 下村花 柘下仁美 青木陽南 田港璃空

三坂知絵子 / 草野康太 / 三浦貴大

監督・脚本・編集：妻井渥

プロデューサー：藤原里歩 | 副プロデューサー：柘下仁美、林海斗 | 撮影：柘下仁美 | 録音：藤原里歩

撮影助手：柳田智哉 | 助監督：加登谷美琴 | 制作：下村花 | 音楽：大津沙良 | 整音：塚本啓介

スチール：柘下知之 | 主題歌：くみ (from パスワードの人)「小謡歌」 | 制作・配給：Récolte & Co.

配給協力：林海斗 | 宣伝デザイン：寺澤圭太郎 | 宣伝：髙野純

2019年 / 日本 / カラー / 16:9 / 77分 / ステレオ / デジタル

SKIPシティ
国際Dシネマ映画祭2019
国内コンペティション
優秀作品賞(長編部門)

第32回
東京国際映画祭
出品作品



311匹目の猫が殺された時、 世界は何か変わるのでしょうか

本作の企画は、大学の授業で「東日本大震災をテーマにした脚本を書く」という課題が出たところからスタートした。不幸の中から幸福への糸口を見出させるのが映画だとすれば、(つながり)ではなく(断絶)を、今こそ恐れずに描くべきではないか。そして、それは現代人が目を背けがちな「死の物語」でなくてはならない。「死の物語」には他者の孤独や不幸に寄り添う力があるからだ。こうして書き上げられた『サクリファイス』の脚本は、その後、立教大学映像身体学科の第1回スカラシップ作品に選出され、映画化された。誰にでも愛想の良い好青年でありながら、猫の死体の写真を収集しているという複雑な内面を持つ主人公・沖田を演じるのは、『14の夜』『アイスと雨音』での演技が話題を呼んだ青木柚。「普通」を拒絶し、「境界の向こう」へ憧れを抱く女子大生・塔子役には、『花に嵐』『聖なるもの』や舞台でも活躍する半田美樹。霊能力に翻弄されながらも、大切な人との記憶を武器に走り続ける少女・翠役には、これが映画初出演となる五味未知子が挑んだ。脳を固める三坂知絵子、草野康太、三浦貴大ら実力派俳優たちの芝居も見所の一つである。ラスト三十分、生者と死者の境界が取り払われ、物語そのものが「壊れる」時、寄る辺なき若者たちはどのような生き方を選択するのだろうか。是非、あなたの目で目撃して欲しい。

STORY

かつて新興宗教団体(汐の会)で東日本大震災を予知した少女・翠は、今は陸上部に所属する女子大生としての日々を過ごしていた。同じ頃、大学周辺では三つの事件が起こっていた。神崎ソラという孤独な学生の死。311匹殺されるまで終わらないとされる猫殺し。若者を戦争へ駆り立てる団体(しんわ)の暗躍。平凡な毎日を息み嫌う塔子は、同じ学部に通う愛想の良い青年・沖田が猫殺しの犯人ではないかと疑い行動を共にしていた。やがて彼が、キャンパス内で神崎ソラと接触を持っていた唯一の人物であることを知り、猫殺しだけでなくソラの殺害にも関与しているのではと疑い始めるが……。東日本大震災から9年、「死の物語」の中を若者たちが疾走する。

サクリファイス

青木柚 半田美樹 五味未知子 藤田晃輔 櫻井保幸 矢崎初音 下村花
松下仁美 青木陽南 田嶋瑛空 / 三坂知絵子 / 草野康太 / 三浦貴大
監督・脚本・編集: 廣井澤
プロデューサー: 藤原里歩 | 副プロデューサー: 松下仁美 林海斗 | 撮影: 松下仁美
録音: 藤原里歩 | 撮影助手: 柳田智哉 | 助監督: 加登谷美琴 | 制作: 下村花 | 音楽: 大津沙良
整音: 塚本啓介 | スチール: 松下知之 | 主題歌: ぐみ (from パスワードの人) 「小塵歌」
制作・配給: Récolte & Co. | 配給協力: 林海斗 | 宣伝デザイン: 寺澤圭太郎 | 宣伝: 船野純
2019年/日本/カラー / 16.9 / 77分/ステレオ/デジタル



3月6日(金)より アップリンク 吉祥寺他全国順次公開